

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	社会学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 各課程別学位授与プロセスの再設定・周知・公表	→学位授与プロセスの再設定・周知・公表の有無	B
2. 博士学位キャンディデート取得後のフォローアップ体制の確立	→博士学位キャンディデート資格取得者数（入学定員の過半数）およびプロセスモデルと一致する学位取得者数	B
3. 専門社会調査士資格取得プロセスの明示・公表	→専門社会調査士資格取得者数（入学定員の過半数）および公表の有無	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

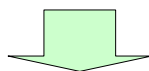
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.1.1	(方針) 博士課程後期課程の3年間で「博士学位申請論文」を執筆・提出することを目標とし、「社会学研究科後期課程博士学位取得プロセス<モデル>」にもとづき、指導教員の指導を受けて研究活動を進めることを奨励する。 (現状説明) 「社会学研究科後期課程博士課程取得プロセス<モデル>」を提示している。
☆ 小項目6.1.2	(現状説明) 大学院「授業科目履修心得／教育課程」において、明示している。
☆ 小項目6.1.3	(現状説明) 大学院「授業科目履修心得／教育課程」および「関西学院大学大学院案内」において、周知・公表している。
☆ 小項目6.1.4	(現状説明) 大学院連絡会ならびに大学院研究科委員会において、検証し、「社会学研究科後期課程博士学位取得プロセス<モデル>」を2010年3月3日改正施行し、キャンディデート授与の要件に「博士学位申請論文構成概要書」を加えた。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



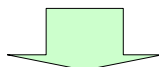
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

なし

【学内委員】

○現状説明の記述は明確です。
 ○学位授与方針や教育課程の編成・実施方針などは適切に公表され、また構成員にも周知徹底されており、この点は評価できます。ただ、目標とされている「専門社会調査士資格取得プロセス」の明示・公表に関しては、現状説明部分に記載がなく、この点についての説明を追加することが求められます。
 ○記述されています学位授与方針は学位授与手続きというものではないでしょうか。学位授与方針を全学で確定する必要があるでしょう。

IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★ 6.1.2 大学院「授業科目履修心得／教育課程」において、明示している。なお、専門社会調査士資格取得プロセスについてはp. 22～p. 23に記載されている。

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.1.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.1.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.1.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.1.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの授業科目開設数
6.1.0.S5	必修・選択ごとの開設授業科目数
6.1.0.S6	系列別卒業必要単位数

<個別的な指標>
